

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,144,292	21,074,539	△ 2,930,247
未収金	41,481	28,590	12,891
たな卸資産	1,137,196	1,305,607	△ 168,411
前払費用	468,600	451,440	17,160
立替金	0	21,960	△ 21,960
流動資産合計	19,791,569	22,882,136	△ 3,090,567
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
書籍製作準備資金	1,500,000	0	1,500,000
特定資産合計	1,500,000	0	1,500,000
(2) その他固定資産			
建物	323,481	393,874	△ 70,393
保証金	410,832	410,832	0
ソフトウェア	1,716,048	2,705,544	△ 989,496
その他固定資産合計	2,450,361	3,510,250	△ 1,059,889
固定資産合計	3,950,361	3,510,250	440,111
資産合計	23,741,930	26,392,386	△ 2,650,456
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	284,474	278,598	5,876
未払費用	31,746	49,274	△ 17,528
未払消費税等	213,500	79,100	134,400
預り金	0	1,000,000	△ 1,000,000
流動負債合計	529,720	1,406,972	△ 877,252
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	529,720	1,406,972	△ 877,252
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	23,212,210	24,985,414	△ 1,773,204
正味財産合計	23,212,210	24,985,414	△ 1,773,204
負債及び正味財産合計	23,741,930	26,392,386	△ 2,650,456

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価方法は、最終仕入原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却方法

定額法を採用している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理については、税込経理を採用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額
特定資産			
書籍製作準備資金	0	1,500,000	0
合 計	0	1,500,000	0

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産から)	(うち一般正味財産か)	(うち負債に対応する)
特定資産				
書籍製作準備資金	1,500,000	(0)	(1,500,000)	(0)
合 計	1,500,000	(0)	(1,500,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	628,517	305,036	323,481
ソフトウェア	4,947,480	3,231,432	1,716,048
合 計	5,575,997	3,536,468	2,039,529

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額
特定資産	書籍製作準備資金	0	1,500,000	0
	特定資産計	0	1,500,000	0
その他固定資産	建物	393,874	0	70,393
	保証金	410,832	0	0
	ソフトウェア	2,705,544	0	989,496
	その他固定資産計	3,510,250	0	1,059,889